スポーツで、もっと、幸せな国へ。Jリーグ百年構想

OFFICIAL NEWS LETTER

J.LEAGUE

30 Jun. 2015 Vol.229

J.LEAGUE™ NEWS



© J.LEAGUE PHOTOS

開幕から安定した強さを発揮して首位の座を譲らず、ライバルの追撃をかわして優勝を飾った浦和。国内タイトル獲得は９年ぶりのこと

浦和レッズが明治安田生命Ｊ1リーグ1stステージ制覇

開幕から無敗のＪリーグ新記録でタイトル獲得。Ｊリーグチャンピオンシップ出場権も手中に

２０１５明治安田生命Ｊ１リーグ1stステージは浦和レッズが優勝を飾り、同2ndステージ終了後に行われる２０１５Ｊリーグチャンピオンシップの出場権を獲得した。1stステージ第15節終了時点で、浦和とガンバ大阪の2チームに絞られたタイトル争い。6月20日に行われた第16節で浦和がヴィッセル神戸と1−1で引き分けたため、G大阪が勝点で上回る可能性がなくなり、最終節を残して1位が確定した。開幕から最終節まで17試合連続無敗（12勝5分）はＪリーグ新記録。浦和の国内タイトル獲得は、Ｊ１リーグ戦と天皇杯全日本サッカー選手権大会に優勝した２００６シーズン以来となる。明治安田Ｊ１ 2ndステージは7月11日（土）にスタートする。（2ページに関連記事）

J.LEAGUE™ TITLE PARTNER
明治安田生命

J.LEAGUE™ TOP PARTNERS
Canon AIDEM Coca-Cola JCB 明治安田生命 コロプラ ROUTE INN HOTELS ECC

J.LEAGUE™ 100 YEAR VISION PARTNER 朝日新聞
LEAGUE CUP SPONSOR ヤマザキナビスコ
SUPER CUP SPONSOR FUJI xerox
J.LEAGUE™ OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER adidas
J.LEAGUE™ OFFICIAL BROADCASTING PARTNER スカパー!
SPORTS PROMOTION PARTNER toto
J.LEAGUE™ OFFICIAL TICKETING PARTNER ぴあ
J.LEAGUE™ ASSOCIATE JAPAN AIRLINES

編集・発行 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

© J.LEAGUE PHOTOS



1stステージ優勝トロフィーを掲げる浦和のペトロヴィッチ監督（右端）。2006年に日本で指揮を執るようになって以来、J1では初めてのタイトル獲得となった

順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	浦和レッズ	41	17	12	5	0	39	17	22
2	FC東京	35	17	11	2	4	24	18	6
3	サンフレッチェ広島	34	17	10	4	3	29	16	13
4	ガンバ大阪	32	17	9	5	3	24	13	11
5	川崎フロンターレ	30	17	9	3	5	32	26	6
6	横浜F・マリノス	26	17	7	5	5	21	17	4
7	ベガルタ仙台	23	17	6	5	6	27	20	7
8	鹿島アントラーズ	22	17	6	4	7	27	25	2
9	名古屋グランパス	22	17	6	4	7	18	18	0
10	湘南ベルマーレ	22	17	6	4	7	20	24	-4
11	サガン鳥栖	20	17	5	5	7	22	32	-10
12	ヴァンフォーレ甲府	20	17	6	2	9	12	22	-10
13	ヴィッセル神戸	19	17	4	7	6	17	19	-2
14	柏レイソル	18	17	4	6	7	22	25	-3
15	松本山雅FC	15	17	4	3	10	17	26	-9
16	モンテディオ山形	14	17	3	5	9	14	24	-10
17	アルビレックス新潟	14	17	3	5	9	20	33	-13
18	清水エスパルス	13	17	3	4	10	22	32	-10

勝負強さ増した浦和レッズ。年間王者を目指し挑戦は続く

２０１５明治安田生命J1リーグ1stステージを制した浦和レッズは、開幕から17試合負けなしの記録が示すように、安定した戦いぶりが際立っていた。同時に、接戦をものにする勝負強さが備わった印象も強い。

勝利数12のうち、1点差の勝利が７試合。相手に先制を許した６試合でも動じることなく追い付き、あるいは逆転して4勝２分の成績を残した。浦和を率いて4シーズン目のペトロヴィッチ監督は「われわれには過去の経験がある。2013年、14年の苦い経験から学び、それを生かしている」と語る。一昨シーズンは最終節まで３連敗、昨シーズンは同じく終盤の失点で1分２敗と勝点を伸ばせず、あと一歩のところで優勝を逃した悔しい思いが、チームの成長を促した。

「今シーズンはゲームをコントロールする力がついてきた」と20歳のMF関根貴大。試合運びが安定する一方で、目指している攻撃サッカーを貫き、18チーム中最多の39得点を記録。4試合連続得点をマークしたFW武藤雄樹をはじめ、新戦力も活躍した。

まずは２０１５Jリーグチャンピオンシップへ一番乗りを果した浦和は、勢いに乗って2ndステージ優勝、そして２００６シーズン以来となる年間王者を目指す。キャプテンのMF阿部勇樹は「今後はどれだけ高いレベルで戦い続けられるかが求められる」と話す。ライバルの猛追が予想される中、浦和の挑戦は続く。



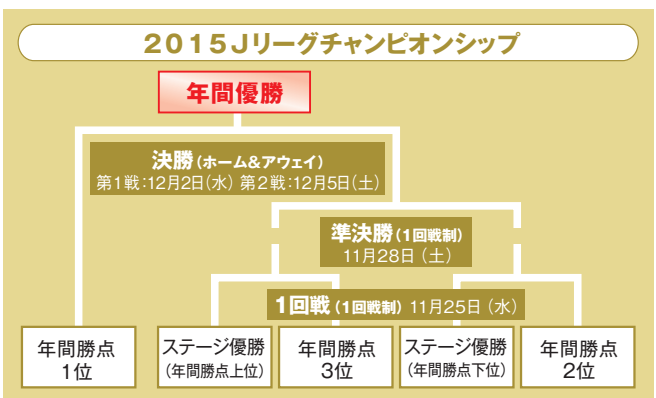
© J.LEAGUE PHOTOS

昨シーズン三冠のガンバ大阪にも終盤の得点で勝利（第９節）



© J.LEAGUE PHOTOS

新加入の武藤はチーム最多の８得点（第12節のFC東京戦）





© J.LEAGUE PHOTOS

明治安田生命の根岸秋男社長（左）も浦和の優勝を祝福

浦和レッズ優勝における村井 満Jリーグチェアマン コメント

「浦和レッズのファン・サポーターの皆さま、浦和の選手をはじめとした関係者の皆さま、２０１５明治安田生命Ｊ１リーグ1stステージの優勝おめでとうございます。開幕から16試合負けなしというJリーグ記録更新によって、見事1stステージを制覇し、Ｊリーグチャンピオンシップ出場の最初の切符を獲得されました。

リーグ戦と並行したＡＦＣチャンピオンズリーグ２０１５において、アジアの強豪を相手にタフな戦いを強いられながらも、1stステージではチーム一丸となって戦い抜き、第1節から首位の座を一度も明け渡すことなく圧倒的な勝負強さを発揮して優勝を決めたのは見事でした。本日、この歓喜の瞬間を共に味わおうと、ここノエビアスタジアム神戸に詰め掛けた多くのファン・サポーターの皆さまの応援も力になったことでしょう。その強さをさらに証明すべく、2ndステージおよびチャンピオンシップに挑んでいかれることと思います。2ndステージでの優勝とチャンピオンシップへの出場、そして年間優勝を懸けて、後半戦も興奮を巻き起こす白熱した試合の数々が繰り広げられることを期待しています。

浦和の明治安田Ｊ１ 1stステージ優勝で幕を開けた新しい大会方式ですが、今後Ｊリーグがより魅力あるものに進化し続けていくためにも、毎年しっかりとＪリーグそのものの総括を重ねていく所存です。例えば、試合ごとの入場者数やその属性の推移、国民のＪリーグに対する関心度、メディアでの露出量などの定量的なデータの分析を実施してまいります。さらに、ファン・サポーターをはじめとした幅広いお客さまの声を広くお伺いするとともに、Ｊ１クラブを中心とした強化担当者や競技、技術、運営関係者とのディスカッションなどを通じた、Ｊリーグの競技面の質的向上の観点においても評価および検証を重ねてまいります。

また、プロスポーツとして欠かすことのできない事業収益の観点での検証や海外リーグにおけるさまざまな大会方式の事例研究も進めますが、こういった総括を可能な限り開示していきたいとも考えております。

あらためまして、本日は浦和のＪ１ 1stステージの優勝、誠におめでとうございます」（2015年6月20日）



© J.LEAGUE PHOTOS

浦和キャプテンの阿部に1stステージ優勝トロフィーを授与した村井チェアマン



日本サッカーリーグ（ＪＳＬ）発足50年記念パーティ開催

Ｊリーグ以前の日本サッカーを支えた関係者が一堂に

700人余りのＪＳＬ関係者が集い、懐かしい雰囲気に包まれた会場。思い出話は尽きることがなかった

日本サッカーリーグ（ＪＳＬ）発足50年を記念した会が6月9日、公益財団法人 日本サッカー協会（ＪＦＡ）名誉総裁の高円宮妃殿下のご臨席を賜り、東京都内のホテルで開かれた。Ｊリーグ発足前の1965年から92年まで、全国規模のトップリーグとして開催されたのがＪＳＬで、在籍したチームの監督・選手、当時の審判員、メディア、サプライヤー、リーグ関係者など700人余りが集い、旧交を温め、思い出話に花を咲かせた。

ＪＳＬに関わった物故者への黙とうの後、大仁邦彌ＪＦＡ会長が「当時の日本のスポーツにおいて、アマチュアの全国リーグというのは大変画期的なこと。高校や大学でプレーした選手が、卒業後も高いレベルの競技生活を送れるという素晴らしいものだった。ＪＳＬ創設から運営、そしてプロ化へという日本サッカーの激動の時代を支えた皆さまに心から感謝を申し上げます」と開会のあいさつを行った。

続いて60年代に日本代表などを指導し、全国リーグ実施などの提言を行ったドイツ人指導者デットマール・クラマー氏の「西村（章一ＪＳＬ初代総務主事）さんを中心に、皆さんは本当に力を合わせ、チームとなって困難な事業に取り組みました。そして現在のＪリーグにつながるリーグ文化の基礎をつくったのです」といったメッセージが披露された。

メッセージでの参加となった同氏に対し、Ｊリーグの村井 満チェアマンは「ドイツの地からこの会場に思いをはせているクラマーさんに、心から感謝の気持ちをお伝えしたい」とスピーチした。



草創期のＪＳＬで運営に尽力した常任運営委員の方々。前列左から、本間、耳野、西村、西本の各氏。後列は大仁ＪＦＡ会長（左）と村井チェアマン



開会のあいさつをする大仁ＪＦＡ会長。自身も1970年代に三菱のDFとしてＪＳＬで活躍した

さらに、村井チェアマンはＪＳＬ発足時の常任運営委員5人の顕彰でプレゼンターを務めた。顕彰受賞者は西村章一、耳野篤廣、西本八壽雄、本間良一、重松良典（欠席）の各氏。

西村氏は古河電工でMFとして活躍し、ＪＳＬ初代総務主事としてリーダーシップを発揮した。日立製作所のFWで、日本代表経験もある耳野氏は、競技運営を担当し、競技場確保、入場券販売などに奔走した。古河電工でFWとしてプレーした後、ＪＳＬで審判を務めたこともある西本氏は総務担当。サッカーのシンボルともいうべき「白黒ボール」導入の提案者でもある。本間氏はFWとして三菱重工でプレー。ＪＳＬでは事務方として精力的に活動した。重松氏は東洋工業、日本代表で活躍したFW。ＪＳＬで経理を担当し、2代目の総務主事も務めた。西村氏は「リーグ（ＪＳＬ）の発会式を思い出す。よくもここまで来たものだ」と感慨もひとしおの様子だった。

村井 満Ｊリーグチェアマン スピーチ（抜粋）



「皆さまに支えられて、Ｊリーグは今シーズンで23年目を迎え、Ｊ1、Ｊ2、Ｊ3の52クラブまで、その裾野を広げることになりました。ひとえにここにいらっしゃる皆さまが築かれた礎の上に、われわれは活動ができていると、本当に感謝をしています。世界で日本のサッカーがリスペクトされ、そして多くのサッカーファミリーと共に、世界中の方々とこの喜びを感じ合えるのも、皆さまのご尽力のたまものだと思っています。Ｊリーグは、そうしたバトンをしっかりと受け継いで、この先の発展に尽くしていきたいと思っていますので、ぜひ、皆さまのご協力、ご指導をお願いします」

ＪＳＬからＪリーグへ

年	月日	出来事
1965年	1月	第1回ＪＳＬに参加する8チームを発表。古河電工、日立本社、三菱重工、豊田織機、名相銀、ヤンマー、東洋工業、八幡製鉄
	6月6日	第1回ＪＳＬが開幕
1968年	11月17日	国立競技場で開催された第9節の三菱 vs ヤンマーで4万人の入場者。銅メダルを獲得したメキシコオリンピック直後のサッカーブーム
1972年		ＪＳＬ2部がスタート
1977年	10月	奥寺康彦（古河）が西ドイツ（当時）の1.FCケルンに移籍。日本人初のプロサッカー選手に
1982年		試合の運営が「リーグ」から「チーム」へ
1986年		西ドイツから帰国した奥寺、木村和司（日産）がスペシャルライセンスプレーヤー（プロ）に
1988年	3月	リーグ内に第1次活性化委員会を設置。事実上のプロ化検討のスタート
1989年	6月	ＪＦＡがプロリーグ準備検討委員会を設置
1991年	2月14日	プロサッカーリーグ参加団体（10団体）を発表
	3月1日	プロリーグ設立準備室を開設
	7月1日	プロリーグ正式名称「社団法人 日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）」、Ｊリーグロゴマーク発表
1992年	3月29日	ＪＳＬが幕を閉じる
1993年	5月15日	Ｊリーグが開幕



日本人初のプロサッカー選手となった奥寺氏（中央）も出席



司会を務めた元テレビ東京アナウンサーの金子勝彦氏（左）

AFCチャンピオンズリーグ2015

準々決勝の組み合わせが決定

柏レイソルは広州恒大（中国）、ガンバ大阪は全北現代モータース（韓国）と対戦

アジアサッカー連盟（AFC）は6月18日、クアラルンプール（マレーシア）のAFCハウスでAFCチャンピオンズリーグ2015準々決勝の組み合わせ抽選会を実施した。その結果、日本から8強入りを果たした柏レイソルは広州恒大（中国）と、ガンバ大阪は全北現代モータース（韓国）とそれぞれ対戦することが決まった。



初のアジア制覇を目指す柏（ラウンド16の水原三星ブルーウィングス〈韓国〉戦）



08年以来となる優勝への期待が懸かるG大阪（ラウンド16のFCソウル〈韓国〉戦）

AFCチャンピオンズリーグ（ACL）2015は準々決勝の組み合わせが決まり、いよいよクライマックスに向かう。日本勢で勝ち残っている柏レイソルとガンバ大阪には、2007年の浦和レッズ、08年のG大阪以来となるアジア制覇が期待される。

柏が準々決勝で対戦する広州恒大は、13年のACL王者だ。同年の準決勝で顔を合わせた柏は、ホームで1−4、アウェイで0−4と連敗し、決勝進出を阻まれた。12年のグループステージでも戦い、1分1敗の成績。ことし6月には、かつてジュビロ磐田を率い、ブラジル代表を02年のFIFAワールドカップ優勝に導いたフェリペ（ルイスフェリペ・スコラリ）が広州恒大の監督に就任した。

7年ぶりの優勝を狙うG大阪の行く手に立ちはだかるのは、06年に韓国勢として初めてACL優勝を飾った全北現代モータース。G大阪とは06年のグループステージ以来の対戦となる。これまで9度のACL出場で、同ステージ敗退が一度（12年）だけという成績を残し、グループステージの柏戦でも2得点をマークしたFWイドングッという強力なベテランストライカーを擁している。

準決勝までは、基本的に東地区と西地区に分かれて戦うため、柏とG大阪が共に準々決勝を勝ち抜いた場合は、準決勝で対決する。

また、ACL2015の優勝クラブはアジアサッカー連盟（AFC）の代表として、ことし12月10日（木）〜20日（日）に日本で開催されるFIFAクラブワールドカップ ジャパン 2015に出場し、クラブ世界一の座を目指す。



柏は13年の準決勝で広州恒大に敗れた雪辱を期す



G大阪は06年のグループステージで全北現代と対戦

監督＆選手コメント

柏レイソル　吉田達磨 監督

「東地区でここまで勝ち残った4チーム、G大阪、柏、全北、広州は全て力のあるチームだが、その中でもより力を入れているのが広州。過去の対戦成績は良くないが、監督が代わり、また新しい広州と対戦できるのが楽しみ。自分たちにとっては、Jリーグとまた違った大会で、ここまで来たこのチャンスを生かしたいし、その気持ちがチーム、クラブにあふれている。ホーム、アウェイという対戦順も難しいと捉えるより、楽しまなければいけない。いい準備をして臨みたい」

柏レイソル　大谷秀和 選手（キャプテン）

「広州恒大はACLに出場するたびに自分たちの前に立ちはだかってきたチーム。前回戦った2013年とは多少選手が入れ替わり、また今回監督が代わったので、またサッカーが変わるかと思う。外国籍選手はアジアのレベルを超えているし、他の選手たちの能力も高い。ただ、柏レイソルがアジアのタイトルを目指している中で、広州を倒さないと上には行けないし、準決勝で敗れた13年の雪辱の場にしなければいけない」

ガンバ大阪　長谷川健太 監督

「全北現代は、昨シーズンのKリーグのチャンピオンですし、現在もリーグで首位のチームなので、非常に力のあるチームだと思います。全力で戦い、準決勝進出を目指して戦いたいと思います」

ガンバ大阪　遠藤保仁 選手（キャプテン）

「今回、全北現代との対戦が決まったものの、まだ今シーズンの試合は見たことがないので、チームについては分からないですが、ここまで勝ち残っているので、とても強いチームだと思っています。自分たちのサッカーで戦って、勝利を目指したいと思います」

■AFCチャンピオンズリーグ2015 ノックアウトステージ

※表の左側のチーム：第1戦ホームチーム
同右側のチーム：第2戦ホームチーム

【決勝】①11/7（土）②11/21（土）

【準決勝】
①9/29（火）②10/20（火）
①9/30（水）②10/21（水）

【準々決勝】
①8/25（火）②9/15（火）
①8/26（水）②9/16（水）
①8/25（火）②9/15（火）
①8/26（水）②9/16（水）

アルヒラル（サウジアラビア）	レフウィヤ（カタール）	ナフト・テヘラン（イラン）	アルアハリ（UAE）	柏レイソル（日本）	広州恒大（中国）	全北現代モータース（韓国）	ガンバ大阪（日本）

TOPICS トピックス（5月21日～6月23日）

※各項目の詳細については、Jリーグ.jp（http://www.jleague.jp/）を参照

メラウ・メラマルアン難民キャンプ「サッカーフェスティバル」を後援

Jリーグは6月17～20日に行われた「メラウ・メラマルアン難民キャンプ『サッカーフェスティバル』」（主催：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会メーソット事務所）を在タイ日本大使館と共に後援した。

このフェスティバルは「世界難民の日」（毎年6月20日）を機に、タイ国境メラウ・メラマルアン難民キャンプで暮らすミャンマー（ビルマ）難民とのサッカー交流を通じて同キャンプの人々を励まし、個人の価値を尊重する精神を育むと同時に、サッカー絵本を通じて子どもたちに夢を持つことや読書の大切さを伝えることを目的として開催された。

フェスティバルには福島県福島市出身で、ジュビロ磐田に所属したこともあるタイのバンコク在住の本田慎之介氏（CREER FCコーチ）を招き、サッカー教室や交流試合を実施した。また、同キャンプの子どもたちのためにサッカー絵本の読み聞かせも行った。

この活動に現地で携わったJリーグ国際部のスタッフは「メラウ・メラマルアン難民キャンプで暮らす子どもたちは生まれてから一度もキャンプの外に出たことがなく、閉鎖された環境の中で厳しい生活を送ることを余儀なくされている。そんな彼らもサッカーボールを一緒に蹴るだけで、すぐに最高の笑顔を見せてくれた。今回の活動を通じて、サッカーが国境、人種、宗教など全ての壁を越える最高のツールであることを、あらためて実感することができた」と感想を語った。



サッカー絵本の読み聞かせに集まった子どもたち。中央が本田氏 ©Jリーグ



一つのサッカーボールが全ての垣根を取り払い、交流が深まった ©Jリーグ

5月度の月間ベストゴール、月間MVPが決定

各月の明治安田生命J1リーグで最も優れたゴールを表彰する「月間ベストゴール」の5月度受賞ゴールに、ベガルタ仙台のMF梁 勇基が1stステージ第11節の浦和レッズ戦（5月10日）で80分に決めた得点が選ばれた。月間ベストゴールは、年間で最も優れたゴールに与えられる「年間最優秀ゴール賞」のノミネートゴールとなり、同賞は12月に行われる2015Jリーグアウォーズで表彰される。

また、各月の明治安田J1・J2で最も活躍した選手を表彰する「明治安田生命Jリーグ コカ・コーラ 月間MVP」の5月度受賞選手に、J1は浦和のMF関根貴大、J2はコンサドーレ札幌のFW都倉 賢が選出された。受賞選手には賞金として、J1は30万円、J2は20万円が授与される。



©J.LEAGUE PHOTOS

浦和戦の梁 勇基。ペナルティーエリア内での冷静さが光る得点だった



©J.LEAGUE PHOTOS

第11節から3試合連続得点などの活躍を見せた関根



©J.LEAGUE PHOTOS

都倉は5試合で6得点などチームの上位進出に貢献

実行委員選任

Jリーグは6月23日に開催した理事会で、グルージャ盛岡の実行委員を臼井康雄氏から高橋 理（たかはし おさむ）氏へ変更することを承認した。

実行委員 敬称略

クラブ名	変更前	変更後
グルージャ盛岡	臼井 康雄 株式会社いわてアスリートクラブ 代表取締役社長	**高橋 理** **株式会社いわてアスリートクラブ** **代表取締役専務**

COPA COCA-COLA 2015に特別協力

Jリーグは5月21日に開催した理事会で、「COPA COCA-COLA 2015」（主催:COPA COCA-COLA 2015実行委員会）に特別協力することを決定した。同大会は、成長期にある中学生世代に対して、飲料製品に関する情報の提供や正しい水分補給、食育に関する認知・普及活動のほか、活動的で健康的な生活習慣づくりを、サッカーを通じて体験してもらう場をつくることを目的に開催される。

大会には全国の男女中学生サッカーチームが参加し、2015年8月2日（日）～22日（土）に地区予選、9月26日（土）～27日（日）に地区予選を勝ち上がったチームによるCOPA CAMPが行われる。Jリーグトップパートナーの日本コカ・コーラ株式会社が特別協賛する。

2015 サンフレッチェ summerカップ（U-15／U-12）を後援

Jリーグは6月23日に開催した理事会で「2015 サンフレッチェ summerカップ（U-15／U-12）」（主催：株式会社サンフレッチェ広島）を後援することを決定した。同大会は、U-15およびU-12年代の理想的な試合形式を用いたゲーム環境を整え、個を伸ばし、指導者の交流、情報共有を行うとともに、豊かな人間性を育むことを目的に開かれる。

U-15は2015年7月22日（水）～24日（金）に呉市総合スポーツセンター、広島広域公園第一球技場、広島広域公園補助競技場で、U-12は同8月18日（火）～19日（水）に広島広域公園第一球技場で行われる。

第38回 日本スリーデーマーチ、第17回 城下町おだわらツーデーマーチを後援

Jリーグは6月23日に開催した理事会で、Jリーグ百年構想パートナーである朝日新聞社などが主催する「第38回 日本スリーデーマーチ」および「第17回 城下町おだわらツーデーマーチ」を後援することを決定した。同イベントは、日本最大の国際色豊かなウオーキング大会で、老若男女が健やかな心身を保つための生涯スポーツを楽しみ、海外からの参加者と国際交流の実体験を目的に行われる。前者は2015年11月1日（日）～3日（火・祝）に東松山市立松山第一小学校を中央会場に行われ、後者は同11月21日（土）～22日（日）に小田原市とその周辺のコースで実施される。

2015 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ
8強が出そろう。準々決勝のカードも決定



オープンドローに参加した選手たちが決意も新たに。左から柴崎 岳（鹿島）、吉本一謙（FC東京）、安田理大（神戸）、武富孝介（柏）、川又堅碁（名古屋）、丹羽大輝（G大阪）、関根貴大（浦和）、指宿洋史（新潟）の各選手



新潟（白）はクラブ史上初の決勝トーナメント進出

２０１５Jリーグヤマザキナビスコカップは6月3日に予選リーグを終了し、決勝トーナメントに出場する8クラブが出そろった。予選リーグAグループではＦＣ東京が1位、アルビレックス新潟が2位で突破。Bグループは、すでに突破を決めていた名古屋グランパス（前号既報）に続き、ヴィッセル神戸が2位で勝ち抜いた。また、決勝トーナメントの組み合わせを決めるオープンドローが同29日に行われ、準々決勝のカードが右下の表のように確定した。

Aグループは予選リーグ第7（最終）節を前に、ＦＣ東京、新潟、湘南ベルマーレ、サガン鳥栖、サンフレッチェ広島が決勝トーナメント進出の二つの枠を争う激戦だった。自力での予選リーグ突破に勝点1が必要だったFC東京は、アウェイの湘南戦を0－0で引き分けて勝点を12へ伸ばし、3年ぶりの8強入りを果たした。ＦＣ東京と共に予選リーグ突破を果たしたのは、現行の大会方式ではクラブ史上初の決勝トーナメント進出となった新潟。松本山雅ＦＣとのアウェイゲームを3－0と制し、勝点を11として2位をキープした。

Bグループは、すでに勝点13で1位確定の名古屋に続く2位をめぐり、第6節終了時点で勝点8の神戸、モンテディオ山形、川崎フロンターレが争った。三つどもえの競り合いを制したのは神戸で、名古屋にアウェイで4－0と快勝。勝点は11となり、川崎Fと山形を突き放した。

オープンドローは準々決勝に進出した8クラブの選手が出席。村井 満Jリーグチェアマンが Jリーグ女子マネージャーの佐藤美希さんと共に、本抽選の順番を決める予備抽選を進行し、選手たちによる本抽選で組み合わせが次々に決定した。ドローの模様はフジテレビの無料動画配信サイト「フジテレビ＋（プラス）」およびJリーグ.jpによって、初めてライブ配信された。

また、決勝は昨年に引き続き、埼玉スタジアム2002で開催されることが決まった。



アウェイで湘南と引き分け、無敗で予選リーグを突破したFC東京



神戸（白）は名古屋（赤）と共に8強へ名乗りを上げた

予選リーグ成績

【Aグループ】

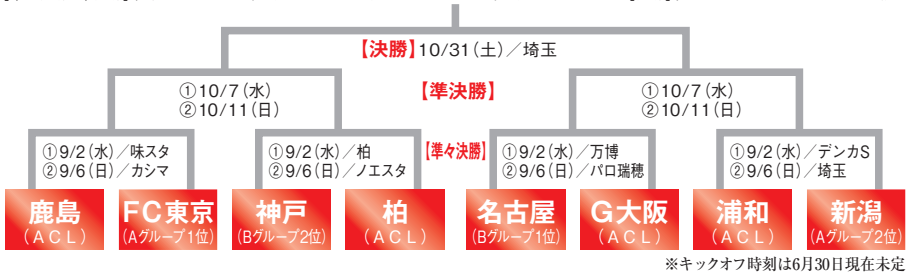
順位	チーム名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1	ＦＣ東京	12	6	3	3	0	8	4	4
2	アルビレックス新潟	11	6	3	2	1	9	4	5
3	サンフレッチェ広島	9	6	2	3	1	9	6	3
4	湘南ベルマーレ	9	6	2	3	1	5	5	0
5	サガン鳥栖	8	6	2	2	2	3	4	-1
6	松本山雅ＦＣ	4	6	1	1	4	8	13	-5
7	ヴァンフォーレ甲府	2	6	0	2	4	4	10	-6

【Bグループ】

順位	チーム名	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1	名古屋グランパス	13	6	4	1	1	12	11	1
2	ヴィッセル神戸	11	6	3	2	1	11	5	6
3	川崎フロンターレ	9	6	2	3	1	7	6	1
4	モンテディオ山形	8	6	2	2	2	10	11	-1
5	横浜Ｆ・マリノス	6	6	2	0	4	7	7	0
6	清水エスパルス	6	6	2	0	4	6	11	-5
7	ベガルタ仙台	5	6	1	2	3	6	8	-2

2015Jリーグヤマザキナビスコカップ 決勝トーナメント

【準々決勝・準決勝】表右側のチーム：第1戦ホームチーム／左側のチーム：第2戦ホームチーム 【決勝】表左側のチームをホームチーム扱い



※キックオフ時刻は6月30日現在未定